

古巣大学同窓会へ挨拶

理事長 横井 弘美



同窓会の会報が発刊されることは、いきましました。現在のキャンパス風景は内容の整った大学ではつとに多くある様変わりしています。教室群の白壁はことで、いつかその機会がくることをもちろん綺麗になっていきますし、外国望んでいました。例年夏から初秋にかけてもたれている地方での大学主催父母懇談会で、折々同じ会場で他大学のそれとかち合うことがあります。他大学ではおおむね大学同窓会が主催するなど大学同窓会がかなり積極的にかかわっているようです。本学は、卒業生の多くの方々が記憶されているように、大学としての長い足跡みがあります。したが、大学同窓会会報が創刊されたことは、本学が漸く今年あたりから他大学との競争場裡に参入できたことの証左として、私はとても嬉しく思っています。

（大学同窓会会報の経緯）

1977年から翌78年頃、当時学長室は現在の第1研究館（「大学論集」の受け渡しをしていた建物）の2階麦粒苑側の端にありましたから、執務の間によく麦粒苑と教室群の風景を眺めていました。教室群の白壁はカビで黒く汚なくなっていましたから、雨のそば降る日などは廃墟のようで、「貧すれば鈍する」の思いに涙ぐんだことがいく度あります。そのようなキャンパス風景から数千人の同窓生が巣立つ

いまきました。現在のキャンパス風景は様変わりしています。教室群の白壁はもちろん綺麗になっていきますし、外国語学部の開設に合わせて赤煉瓦色のタイル張りの新しい建物が棟建設されましたし、現在第2学生食堂が建設中です。加えて多くの女子学生と外国人教員、留学生が加わって、キャンパスが明るくカラフルになってきています。いろいろな努力が重ねられて、大学の財務状況は他大学並みに復したと考えることができます。そしてこれから、大学進学者数の激減する「私学冬の時代」を迎えうつこととなります。

このようなときに、同窓生の大部分の方が「糸の切れた風」のようになっ

てはいけません。「糸の切れた風」のような現況はとり急ぎ改善されなければなりません。会報創刊が良い契機になればと祈念いたします。

同窓会室のご案内

大学当局のご厚意により、第2研究館1階に同窓会室を開設いたしました。すでに来訪者の接待、大学同窓会会員名簿の整備、同窓会の運営に必要な仕事を精力的に行っています。

大学にお越しの際は、ぜひお立ち寄り下さい。

連絡先

住所 愛知県瀬戸市上品野町1-350
電話 〇五六一―四二―〇三五〇

(内線二〇二)

開室時間 9時半～16時

(土・日・祭は除く)

事務局長 加藤寿江麻さん
専任事務職員 牧野ひろみさん
にお世話いただいております。

